

再び

# バスの増便を

## ～住民の願いに沿ったバスの運行を～

昨年3月、突然阪急バスが減便となり、東山(大牧)から、東向日やJR向日町への往復が、9時台から、午後2時台まで、1時間に1便となりました。

特に、帰りは、急な坂で、荷物を持って坂は上れない。1分遅れたら、夏は西日のきついバス停で、冬は、木枯らし舞う中で1時間待ち。大変辛い思いをされています。

「バスの増便を求める住民の会」のみなさんはじめ、高島自治会では、自治会としても署名に取り組んでくださり、昨年12月議会では、議会でも「増便を求める請願」を採択できました。しかしながら、阪急バスの増便は、難しいとのこと。

「向日市地域公共交通会議」の場において、「ぐるっとむこうバス」を東山まで通すことも検討、という案が出され、再び、議会で取り上げました。

しかし、(案)では、北ルートของバスを「灯籠前」から「東山」に回すというのですが、北ルートは、始発がJR向日町駅で、駅前には止まりません。そのため、JRまで、バスを乗り継いでいくか、歩いて行かなければなりません。それなら、1時間待って、次の阪急バスに乗ってもあまり変わらないこととなります。



令和3年度第2回地域公共交通会議資料より

## その後

「バスの会」のみなさんが、公園交通課の主席係長と懇談をされ、丹野議員も同席をしました。

その席で、係長さんより、

- ① 阪急バスの増便は難しい。
  - ② コミバスを「北ルート」「南ルート」どちらも含めて、どのように通ればより安全に東山に回れるか、業者さんに調べてもらっている。
- ということを伺い、
- ・住民が便利になるよう考えてほしい。
  - ・心身共に健康に長生きするには、高齢者

が「でかける」ことが大事。

- ・市がイニシアチブをとって業者を指導し市民の足を守ってほしい
- ・いつまでも調査中というのでは困る。期限を切ってほしい。(今年中など)
- ・市の方から出かけてきて、住民の声を聞いてほしい。など要望されました。



# 健康で文化的な生活空間を

## ～向日台団地建替えにあたって

### 府道中山向日線の西側の、計画はどうなるのか

当初の計画では、府道の西側と競輪駐車場を含む3,7㏊が建替え計画地となりましたが、高さ制限を緩和(1部7階建てに)するという事で、府道の東側のみを計画地としています。

また、居住棟の数や形状、建物の構造などは、まだ決まっていないとのこと。

### 団地集会所は、集まりやすい場所に

集会所は、「自治会活動の場」として、また、「投票所」としても重要な場所であるため、現在のような坂の上でなく、集まりやすい

場所にと要望しました。

### 向日市民に役立つ公共施設(福祉施設・老人施設など)を再度要望

「交流ゾーン」には、保育所を想定しているが、確定ではない。

建替えは、長期にわたるため、先ずは住戸のみを整備するとのことでした。

ご要望をお寄せください。



イラストはイメージです

## ③地区計画概念図

